



代表取締役社長 古川雅裕さん

地元のいいものを伝えたいという思いから、もの作りに取り組む仲間と一緒に、この商品を作りました。この菓子を通して、白河の歴史やまちの魅力なども伝えていきたいと思っています。

農政課 内2224

白河ブランド 認証 第19号

白河蔵めぐり酒ゼリー (千駒・登龍・霧の華)



(株)大黒屋

白河が誇る優れた製品を紹介！

地元蔵元のこだわりの地酒を使ったゼリーで、金箔が入った千駒酒造の清酒「千駒」、大谷忠吉本店の特別純米「登龍」、有賀醸造の微炭酸日本酒まっこり「霧の華」の3種類があります。お酒の風味をいかし、フルーティーですっきりとした味わいに仕上げていますので、日本酒が苦手な方でも、味の違いや特徴を利き酒感覚で楽しむことができます。

また、酒蔵の扉を表紙にした商品のパンフレットでは、100年以上にわたり継承してきた蔵元の酒づくりの歴史や伝統などが紹介されています。

蔵人の思いをくみ取って作った酒ゼリーをぜひ味わってください。

新シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol.1

白河結城家の礎を築いた武将

結城宗広

(生年不詳～1338)



木村玉淵「結城宗広像」
(白河市歴史民俗資料館蔵)

1300年代前半、鎌倉時代末期から南北朝時代初期にかけて、白河結城家を歴史の表舞台に押し上げたのが白河を治めた結城宗広です。

宗広は白河結城家を興した祐広と、その妻で熱田神宮(名古屋)の大宮司の娘との間に生まれました。左衛門尉・上野介の官名を名乗り、入道(仏門に入ること)後は道忠と称しました。

鎌倉幕府内で結城家は、有力な御家人の一人でしたが、元弘3年(1333)5月、鎌倉にいた宗広は後醍醐天皇の倒幕の命を受けて挙兵し、新田義貞らと幕府を滅ぼします。その恩賞で各地に領地を与えられたほか、天皇が陸奥国司

(国の管理者)に対し、国内統治は宗広の支援を受けるよう指示するなど、厚い信任を受けました。また、天皇から結城本家に代わり「惣領」(一族の代表)にも命じられています。

しかし、時代は後醍醐天皇と足利尊氏の対立で天皇家が二つに分裂した「南北朝時代」を迎えます。天皇(南朝)を支える宗広は、白河から二度出陣し尊氏(北朝方)と戦いました。一度は勝利し、天皇から「公家(朝廷)の宝」とまで賞賛されます。しかし二度目は破れ、天皇が拠る吉野(奈良県吉野町)に撤退、陸奥での南朝勢力立て直しを図り伊勢国から船で出発しますが、嵐で吹き戻され、再び白河に戻れずに没しました。

白河結城家は、その後豊臣秀吉の時代まで約250年、白河を領しました。宗広はその確固たる礎を築いた人物といえます。



感忠銘碑(搦目)

宗広らの顕彰碑で、文化4年(1807)に地元の庄屋内山家が主導し作りました。題字は松平定信の筆。

文化財課 2310



会長 矢野正則さん

丹精込めて栽培した作物を無駄にしないように、完熟した野菜・果実をジュースに加工することで、農家をサポートしています。数多くの方に飲んでいただけたよう、味の改良をしたいと思います。

●本庁舎農政課 内2225

白河ブランド プレミアム「白河ジュース」

認証第21号	「トマト」
認証第22号	「もも」
認証第23号	「りんご」
認証第24号	「人参」



農産物直売所アグリパーク出荷者友の会 白河が誇る優れた製品を紹介！

市内白坂で栽培された「トマト（桃太郎）」「人参」、久田野で栽培された「もも（あかつき）」「りんご（ふじ）」を、まる絞りした完熟果汁100%ジュースです。一番おいしい時期の完熟したものを味わってもらうため、素材の味を損なわないよう、余計なものは何も入れずシンプルに仕上げています。

「トマト」「もも」は、濃厚な味わいのため、そのまま飲むだけでなく、料理の隠し味に使うと、味に深みが増します。また、「人参」は、にんじんとりんごのミックスで、子どもでも飲みやすい、あっさりとした味です。

それぞれの素材の味を濃縮した濃密な味わいを、ぜひお試しください。

シリーズで学ぶ

白河歴史人物伝

Vol.2

白河に伝説をのこす名僧

源翁

（生年不詳～1396）



木造源翁和尚坐像
（常在院蔵、県指定文化財）

源翁和尚は、常在院（表郷中寺）を開いた曹洞宗の僧侶で、那須の殺生石伝説にまつわる人物としても知られます。

《生い立ちと経歴》

和尚は、現在の新潟県に生まれました。5歳の時、新潟の古刹国上寺（陸上寺）で出家します。全国を遍歴し、鳥取、栃木、茨城と、行く先々で寺院の創建に関わりました。その後福島に入り、白河に常在院を、喜多方に慶徳寺・示現寺を開きました。さらに山形、新潟、秋田、岡山などを歴遊し、開いた寺院は合計22箇寺にのぼります。

常在院は、1376年（一

説に1374年）に開かれ、寺には和尚の行いを描いた絵巻と文書、木造の坐像が伝えられています。また、境内の裏手にのこされている巨石は、「殺生石」の一つとされています。

《殺生石の伝説》

平安時代、宮中に現れて帝を呪い殺そうとした妖狐は、那須野が原で退治されました。その怨念は毒を放つ殺生石と化し、生き物を苦しめていました。和尚が仏法を説いて供養し、石は打ち砕かれました。そのとき飛び散ったかけらの一つが常在院に飛来したと伝えられています。

なお、金づちのことを「玄能」と呼びますが、これは和尚が殺生石を砕く際に用いたことが語源とされます。



殺生石

常在院の境内に現存する、殺生石のかけらと伝えられる石。

●文化財課 ☎2310



代表取締役 渡辺 久さん

生産者の方と一緒に作り上げたりんごジャムです。原材料を多く使用していますので、りんごを食べているような食感が楽しめます。多くの方に味わっていただきたいです。

問 本庁舎農政課 内2225

白河ブランド
認証 第25号

白河プレミアム
ジャム りんご (ふ
じ)



(有)南部

白河が誇る優れた製品を紹介！

市内久田野で育てられたりんご（ふじ）を使用した果肉たっぷりのジャムです。ふじ本来の甘さや風味を生かすため、余計なものは使用せずシンプルに仕上げています。りんごを多く使用しているので、濃厚な味わいとシャキシャキとした歯ごたえが特徴です。生産者の方が一つ一つ丁寧に手間暇かけて育てた想いを無駄にしないよう、サイズが揃いなどの理由で規格外となったりりんごを利用していません。商品開発では、りんごの自然な甘さを引き出すため、生産者の方と試行錯誤を重ねながら、納得のいく商品を作り上げました。こだわりが詰まったりんごジャムをぜひ味わってください。

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol.3

小峰城と城下町の基礎を築いた初代藩主

丹羽長重

(1571～1637)



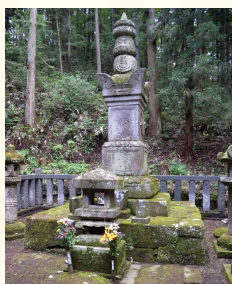
丹羽長重像
(白河市歴史民俗資料館蔵)

《誕生と前半生の挫折》

長重は、1571年に今の岐阜県岐阜市で生まれました。父長秀は織田信長の重臣で、信長死後は豊臣秀吉を支持して越前（福井県）などで約123万石を領しました。1585年、長重は15歳で家を継ぎますが、家臣の不祥事を責められ領地を4万石まで削られました。さらに1600年の「関ヶ原の戦い」では、反徳川の行動を取ったとして改易されました。わずかの家臣が長重に従ったと伝えられています。

となる秀忠の計らいで、1万石の大名として復活しました。そして棚倉（5万石）などを経て1627年、10万7000石の白河藩主となりました。長重はまず、阿武隈川を現在の流れに変え、元の河原を武家屋敷としました。それが今の会津町です。そして1629年1月、長重は小峰城の大改修を開始します。この改修で小峰城は石垣を多用した城郭に生まれ変わりました。東日本では数少ない石垣造りの城は、東北の押さえの役割を果たすものでした。城下町も同じころに整備され、現在まで基本的な形が残っています。

1637年閏3月、長重は67歳で没し、白河の菩提寺大隣寺に葬られました。寺は後に二本松に移りましたが、長重の墓は残され、今も自らが整備した小峰城や城下を見守っています。



丹羽長重墓
円明寺にある長重の墓。
総高5.16m。

《敗者復活と白河での事績》
転機となったのは1603年。のちに徳川家2代将軍

問 文化財課 ☎ 2310



代表 北條雄三さん

お客様の好みに合うよう、1つの果物に対して様々な品種を取り揃えています。

今後は、東京にも販路を広げ、白河で栽培された果物をPRしていきたいと思っています。

問 本庁舎農政課 内2225

白河ブランド

認証第26号	りんごジュース (ジョナゴールド)
認証第27号	りんごジュース (シナノゴールド)
認証第28号	りんごジュース (ふじ)
認証第29号	りんごジュース (グラニースミス)
認証第30号	もも飴



北條農園

白河が誇る優れた製品を紹介！

有機肥料・低農薬で育てられた果実を加工した商品です。

無添加・果汁100%の「りんごジュース」は、様々な品種のなかでも、さっぱりした甘さの「ジョナゴールド」、香りが残る「シナノゴールド」、甘さが強い「ふじ」、酸味が強い「グラニースミス」の4種類があります。飲み比べをすることで、それぞれの味の違いを楽しむことができます。

また「もも飴」は、ビタミンが損なわれないよう桃を低温乾燥させ、パウダーにしたものを高品質な水飴の生地練り込んでいます。そのため、桃の風味だけでなく、果肉の舌触りも楽しむことができます。

ぜひ味わってみてください。

シリーズで学ぶ

白河歴史人物伝

Vol. 4

転封を繰り返した、結城家ゆかりの大名

松平直矩

(1642～1695)



松平直矩像

(前橋市・孝顕寺蔵、群馬県指定文化財)

《生い立ちと各地への転封》

直矩は1642年、直基の子として今の福井県大野市で生まれました。祖父は徳川家康の子で下総(茨城県)結城家の養子となった秀康です。

直基は「松平」を名のりますが、父秀康の命で結城家を継ぎました。そのため系図上の家祖は、源頼朝に白河荘を賜った結城朝光です。

さて、直矩は父の急死で姫路藩(15万石)を継ぎます。しかし、幼少で姫路の西国監視の役は困難と、越後村上に移されました。成長後、姫路に戻されますが、一族のお家騒動の処分で九州へ転封されます。その後、1692年に結城家ゆかりの白河に移され

ました。

《白河や結城家との関わり》

直矩が白河藩主だったのは晩年の約3年ですが、それ以前から白河との縁があります。村上藩時代に参勤交代で白河を通った時には、当時白河藩領だった長沼で寺に狩野派の達磨図を寄進し、これが今に伝わります。また、秋田藩佐竹家は親戚で、その分家に白河結城家の末裔が仕えていましたが、秋田藩士への移籍を口添えしています。同じ結城一族、という想いがあつたのかも知れません。

白河藩主時代の1693年には、小峰城道場門内に鐘撞堂を建て、鐘で時刻を知らせるようにしました。

その後、直矩は54歳で亡くなり、白河に葬られました。現在でも円明寺の墓所に直矩の五輪塔と家臣奉納の灯籠が残されています。



松平家軍配

直矩の名が入っています。

(前橋市・東照宮所蔵、前橋市指定文化財)

写真提供 前橋市文化財保護課

問 文化財課 ☎ 272310



代表 遠藤泰則さん

より多くの方に白河そばのおいしさを知っていただくため、地元産にこだわった乾麺を作りました。

そば屋が作った乾麺をぜひ味わってみてください。

問本庁舎農政課 内2225

白河ブランド
認証第31号

白河の関 老久保そば



(有)新駒本店

白河が誇る優れた産品を紹介！

地産地消にこだわり、表郷産のそば粉と東野出島産の小麦粉を使用した100%白河産のそば乾麺です。
長年、そば屋を営んできた経験を生かし、白河そばをブランドとして広めたいという思いを込めて作りしました。
原料は、6次化の取り組みを通じて知り合った地元の生産農家から仕入れています。
自社の石臼でひいたそば粉は、そばの香りと風味が生きています。濃い色味が特徴の東野出島産の小麦粉との相性も抜群です。
従来の乾麺よりそば粉を多く使用しているので、ゆで上がりが早く、手打ちそばのようない味が楽しめます。水に浸してからゆで上げるのがおすすめです。

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol. 5

白河生まれの姫君

秦姫

(1795～1823)

《定信の娘たち》

松平定信は、6人の養子を含む、15人の子どもに恵まれました。うち11人が女子で、この娘たちは各大名家に嫁ぎました。例えば定信の妻の実家である大洲藩（愛媛県）や、長岡藩・村上藩（新潟県）、高崎藩（群馬県）、諏訪藩（長野県）などです。

《6女・秦姫》

その一人、秦姫は寛政7年（1795）3月17日に生まれました。定信の子でただ一人の白河生まれです。名前は、はじめ睦、次に晴、そして秦を名乗りました。

5歳まで白河で暮らした秦はその後江戸に出て、文化5年（1808）12月26日、平戸藩（長崎県）の藩主、4歳年上の松浦熙と婚姻しました。この記念の日は、それから松浦家で年忘れを兼ねた祝いの日となりました。

このとき秦姫が持参した婚禮道具やひな人形が現在も伝えられています。婚禮道具は

黒漆塗で蒔絵が施され、松平家の家紋である梅鉢紋が入っています。ひな人形は当時流行した極小の「芥子雛」と称される精巧なもので、当時の技術の高さがうかがえます。
文政6年（1823）、秦姫は29歳の若さで亡くなりましたが、夫の熙はその後も記念日を祝い、妻を偲びました。このことが秦姫の遺品が大切に伝わった大きな理由の一つと考えられます。
このたび、白河で初めてこれら貴重な品々を展示します。白河ゆかりの姫君の、華麗な婚禮道具等をぜひご覧ください。（詳細は10ページ）



鏡台
整髪・眉作・お歯黒などの化粧道具入れです。



鏡建・姿見・鏡箱
姿見の鏡などの一式です。

（共に松浦史料博物館所蔵）

問文化財課 ☎272310

※秦姫の婚禮道具等展示は終了しています。
（令和6年12月現在）



代表 富岡雅美さん

地元生産者の方と協力し、品質の高いえごまを安定して栽培できるよう体制を整えています。健康食品として優れ、おいしい地元産のえごまをぜひ味わってみてください。

☎本庁舎農政課 内2225

白河ブランド

認証第32号	えごまドレッシング
認証第33号	えごまポン酢



(有)日本メグスリノキ本舗 白河が誇る優れた製品を紹介！

表郷・東地区の提携農家で栽培された地元産の「えごま」を使用したドレッシングとポン酢です。

「えごま」はじゅうねんとも呼ばれ、昔から食べられてきましたが、最近健康食品として広く注目を集めています。このドレッシングとポン酢は「えごま」を手軽に美味しく食べられるよう工夫し作られています。

まろやかな甘みとコクのあるドレッシングは、サラダや豆腐、しゃぶしゃぶに抜群に合います。また、鍋がおいしいくなるこれからの季節、鍋料理をえごまポン酢でいただくのもおすすめです。食欲の秋、ぜひ季節の野菜などと一緒に味わってみてください。

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol. 6

定信に仕えた江戸画壇の重鎮

谷文晁

(1763～1840)

谷文晁は、松平定信の実家でもある徳川御三卿・田安家の家臣・谷麓谷の子として江戸に生まれました。絵は10歳の頃から、狩野派の絵師であった加藤文麗に学び、続いて渡辺玄対に学んでいます。寛政4年(1792)には松平定信付となり、以後定信との関係は生涯にわたります。

文晁は江戸の下谷(現東京都台東区)に画塾「写山楼」を構え、全国から多くの入門者がありました。中国画、日本画、西洋画などを旺盛に学び、それらを折衷して幅広い画風の作品を残しました。当時江戸の絵師としては最も有名な人物の一人でした。

《松平定信と文晁》

当時幕府老中の職にあった白河藩主松平定信は、伊豆・相模巡視に文晁を伴い、海岸の様子を写実的画法で描かせています(国重要文化財・公余探勝図巻)。また、定信が全国の古宝物を調査・模写させ、『集古十種』『古画類聚』を

編さんした際にも、文晁が関わりました。二人は私的に多くの書や絵のやり取りをしています。

《白河での足跡》

文晁の弟子には、白河の絵師である大野文泉、蒲生羅漢などがいました。また、文晁作品の中には、落款に「於小峰山房」などと書かれたものが数点確認されています。これは文晁が定信に伴って白河を訪れた際、小峰城内に構えた工房で制作した作品で、白河における制作活動をうかがわせる貴重な資料でもあります。



▲「白河楽翁公下屋敷真景図」小峰城三之丸の庭園を描いた作品。小峰山房で描かれたもの(白河市歴史民俗資料館蔵)。



▲「杭州四季風俗図巻」中国の風俗図を模写した作品。(白河集古苑で11月6日(日)まで展示中(松浦史料博物館蔵))

☎文化財課 ☎22310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ブルック・マクダニエル先生
（アメリカミネソタ州）

本庁舎学校教育課 内2363

第二の故郷

こんにちは。マクダニエルです！マクドナルドじゃないですよ。アメリカのミネソタ州出身です。私の故郷ミネソタは、1万の湖がある州といわれている自然豊かなところですよ。

白河に来て今年で4年目になりますが、小峰城の美しい桜、南湖公園、紅葉、提灯祭りなど、魅力がたくさんあって、今では、私の大好きな場所の一つになりました。

人もみんな親切で、コンビニの店員さんも優しいですね（笑）

また、和食だけではなく、イタリアンなど大好きな世界各国のレストランもたくさんあります。

趣味は絵を描くことと、アーチ

エリーです。小・中学校で英語を教えています。

白河は私の第二の故郷。皆さん、これからもよろしく願います！（次回に続く）



▲翠楽苑（南湖公園）

英語で一言！

「Try, try again!」（失敗を恐れず）何度でも挑戦しよう！

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol. 7

定信に仕えた白河藩の絵師

巨野泉祐

（1774～1837）



巨野泉祐（大野文泉）像
谷文晁が描いた泉祐の肖像画（広島県立歴史博物館蔵、国指定重要文化財：菅茶山関係資料）

巨野泉祐は、白河藩士の大野家に生まれました。本名は安勝といひます。26歳で藩の御絵師に命じられます。絵師としては、はじめ大野文泉と名乗りましたが、文化8年（1811）以降は巨野泉祐と名乗りました。

《絵師としての活動》

泉祐は、藩主定信の命により、さまざまな編纂事業に携わりました。寛政11年（1799）には、全国の古画を模写し分類・編纂した『古画類聚』を清書し提出しています。同じく全国に伝わる古宝物の図録である『集古十種』の編纂にも携わりました。また用務で各地を旅した

際には、定信の求めに応じて道中の風景を描いた真景図を提出しました。例えば文化5年（1808）、定信の息子定栄（のちの長野松代藩主真田幸貫）の甲子温泉湯治に同行しており、道中の景色を描いた「奥州白川甲子山真景図」が現存しています。その他、白河領内各地の真景図や、小峰城内にしつらえる屏風や杉戸絵など、藩から勤しんでいます。

《晩年の泉祐》

文政6年（1823）、藩主松平家が桑名藩（三重県桑名市）へ国替えとなったため、泉祐も桑名に移り、天保8年（1837）に64歳で没しました。藩儒学者の広瀬蒙斎を描いた肖像は58歳の作品ですが、穏健な蒙斎の人物がよく表れています。



広瀬蒙斎像

広瀬蒙斎は、『集古十種』や『白河風土記』の編纂などに携わり、学問の面から藩主定信を助けました。（白河市歴史民俗資料館蔵）

文化財課 272310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ブルック・マクダニエル先生
(アメリカミネソタ州)

本庁舎学校教育課 内2365

子どもたちは私の家族

みなさんこんにちは。前回に引き続きマクダニエルです。今回は、学校での様子をお伝えします。

私は白一小、白二小、白三小に週1日、表郷中に週2日勤務しています。白河は小さな学校が多いですが、先生も子どもたちもみんな家族のようで、アットホームな雰囲気が大好きです。授業以外にも子どもたちと一緒に給食を食べたり、掃除をしたり、部活動のソフトテニスをしたり、毎日楽しく過ごしています。

初めの頃、生徒たちは恥ずかしがってあまり話してくれませんが、今では積極的に英語で話してくれるようになり、とても

やりがいを感じています。これからもアメリカの文化や習慣などを楽しく学んでもらえるよう、いろいろなアイデアを出しながら英語を教えていきたいです。



▲表郷中での授業の様子

英語で一言！

「You only fail if you give up!」
(失敗してもあきらめてはいけません!)

シリーズで学ぶ

白河歴史人物伝

Vol.8

羅漢山に住んだ絵師

蒲生羅漢

(1784～1866)

蒲生羅漢は白河の出身で、本名は藤田豹、のちに蒲生の姓を名乗ります。また、羅漢山人、在家菩薩などの号を名乗っています。

《谷文晁に入門》

若い頃の経歴は不詳ですが、10代の頃には江戸に出て谷文晁の下で絵の修業をしていたと考えられています。のちに白河藩主松平定信の文化事業に参画していることから、早く定信に見出され、谷文晁への入門を勧められたのかもしれない。19歳の時、定信の命により岡本茲樊・谷文一・星野文良とともに京都の石山寺に伝わる「石山寺縁起絵巻」の模写に携わっています。

《羅漢山人之伝》

現在、羅漢山の麓に「羅漢山人之伝」と題する石碑が立っています。天保14年(1843)、援助者であった鏡沼村(現鏡石町)大庄屋常松菊畦が建てたもので、羅漢の業績や人となり記されている。

ます。絵については中国の宋・元・明の古画を学び、特に仏画を得意としたといえます。また、位の高い人物にも媚びることなく、十日酒を飲んで一日絵筆をとるといふほどの酒飲みであったことなど、豪放な人柄をうかがわせるエピソードが記されています。

《晩年》

羅漢は晩年までこの羅漢山の麓にアトリエを構えて作画を続けます。文久3年(1863)に法眼の位を授けられ、その功績を認められました。83歳で亡くなり、皇徳寺(大工町)に葬られました。

蒲生羅漢筆
関帝図
(白河市歴史民俗資料館蔵)
※1月22日(日)まで 白河集古苑で展示



「羅漢山人之伝」碑
(築城稲荷神社境内)

文化財課 2310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



コートニー・ベン先生
(アメリカメリーランド州)

本庁舎学校教育課 内2365

はじめまして！

こんにちは。コートニーです！私の故郷はアメリカのメリーランド州。メリーランド州は、東部の大西洋岸にあり、ワシントンD.C.に隣接する、最も歴史の古い州のひとつです。

白河に来て今年で4年目になりました。最近では、買い物をしているときに、教え子から声を掛けられることも増え、うれしく思います。

趣味は読書と写真を撮ることです。休日にはいろいろな所に出掛けて、写真を撮ってます。阿武隈川沿いのサイクリングロードに咲く、桜並木の風景が私のお気に入りです。

料理も勉強中です。先日、図書館で本を借りて、アップルローズパイに挑戦しました。皆さん、これからもよろしくお願いします！（次回に続く）



▲手作りのアップルローズパイ

英語で一言！

"I can't" is a lie for giving up too early.

（「できない」と言う前に諦めない！）

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol. 9

白河藩最後の老中

阿部正外
(1828～1887)



阿部正外肖像写真
『國事執掌報効志士人名録第壹輯』(史談会編、明治44年)より

期待したためともいいます。しかし幕末は、天皇が政治に関わり、京都にいた一橋慶喜や会津藩・桑名藩が天皇の代弁者として老中と対立することもありました。

慶応元年(1865)、大坂にいた正外ら一部の老中は、外国から兵庫(神戸)開港の強い要求を受けました。戦争も辞さないその姿勢に、正外らは朝廷の許可を得る前に、開港を決めます。

しかし、慶喜から抗議を受け、次いで朝廷も正外らを官位剥奪処分としたため老中も免ぜられ、白河での謹慎となったのです。翌年6月には、隠居と子正静の相続、棚倉への転封が命じられ、白河藩の消滅につながります。

正外はその後、政治に関与せず、明治20年(1887)に亡くなりました。

老中として政治に奔走しながらも、朝廷との対立で処分を受けた正外は、幕末の政治混乱に翻弄された一人だったといえるでしょう。



阿部正外筆「寿」
(白河市歴史民俗資料館蔵)

※1/22まで白河集古苑で展示中

文化財課 ☎ 272310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



コートニー・ベン先生
(アメリカメリーランド州)

本庁舎学校教育課 内2365

楽しめる授業を！

みなさんこんにちは。前回に引き続きコートニーです。

みなさん、お正月はどのように過ごしましたか。メリーランドのお正月は、ハムや黒目豆を食べて、家族でテレビを見ながら、ゆっくりと過ごします。アメリカでは新年に黒目豆を食べると縁起が良いといわれています。みなさんも、ぜひ食べてみてください。

今回は、学校での授業の様子を紹介します。初めの頃は、どんなふうに授業を進めたらいいのか不安でしたが、子どもたちが積極的に話しかけてくれるので、今ではとても楽しく過ごしています。

子どもたちが楽しみながら学習

できるように、授業では英語カルタなどのゲームを取り入れていきます。ゲームを通して、子どもたちにアメリカの文化や習慣などを教えていきたいです。



▲白五小での授業の様子

英語で一言！

Don't aim to be perfect.
 Aim to be happy.

(完璧よりも、幸せを目指そう)

20歳の時、備中松山藩（岡山県高梁市）の譜代大名板倉家の養子となりました。老中になる志があり、その可能性を求めたためといえます。嘉永2年（1849）に藩主となり、陽明学者の山田方谷を抜擢し、藩政改革を成し遂げました。

先月号の阿部正外が老中を務めた前後に、二度老中となった板倉勝静という人物がいます。松平定信の孫にあたり、白河で生まれました。

《生い立ちと養子入り》

勝静は、文政6年正月18日、藩主松平定永の子として生まれました。生後間もない3月下旬、松平家が桑名転封となり、江戸に移って祖父定信と対面しました。



板倉勝静肖像写真
下段写真とも『國事執掌報効志士人名録第壹輯』（史談会編、明治44年）より

(1823～1889)

板倉勝静

老中として幕府終焉を見つめた定信の孫

白河歴史人物伝

シリーズで学ぶ

Vol.10

《二度の老中と幕府の終焉》

その後、幕府の役職を務め、文久2年（1862）に老中となりますが、他の老中らと意見が合わず、元治元年（1864）6月に辞職します。しかし14代将軍家茂の要請で慶応元年（1865）10月に再び老中となり、家茂死後は徳川慶喜を補佐し、将軍就任や同3年の大政奉還に奔走しました。

同4年正月、京都で戊辰戦争が始まります。幕府軍は敗れ、勝静は慶喜らと大坂から江戸に撤退して老中を辞職し、日光に謹慎しました。

日光では進軍した新政府軍に捕まりますが、旧幕府軍に救出され、共に会津・仙台を経て五稜郭に行っています。しかし、家臣の説得で自首して謹慎処分を受け、許された後は上野東照宮の神職を務め、明治22年、67歳で亡くなりました。

定信が立て直そうとした幕府、その最期を孫が見届けたのは、数奇な巡り合わせといえるかもしれません。

一院有花春畫静八方
無事詔書稀

松波 編

板倉勝静晩年の書

文化財課 2310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ガーキー・マイケル・リー先生
(アメリカウィスコンシン州)

本庁舎学校教育課 内2365

ラーメン大好き！

皆さんこんにちは。私は昨年7月に、アメリカ合衆国の中西部、五大湖地域にあるウィスコンシン州から来ました。この州は祖先にドイツ系移民が多いことからチーズやソーセージ、ビールなどが有名です。そして白河の冬も寒いですが、私の故郷ではマイナス20℃にもなるので冬の寒さは平気です。

趣味は芸術鑑賞と絵を描くことで、休日には風景画などを描いています。白河は緑が多く、故郷と似た雰囲気なのがお気に入りです。日本独自の文化やお祭りも興味があり、昨年は提灯祭りに参加してお神輿も担ぎました。

また、日本のラーメンが大好き

で、家族と週末などよく食べに行きます。おすすめのお店があったらぜひ教えてください。

皆さんどうぞよろしくお願いします。(次回に続く)



▲趣味で描いた水彩画（金勝寺橋）

英語で一言！

Always look on the bright side.

(いつも明るい面を見て前向きに！)

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol.11

幕末日本を歩いた白河ゆかりの絵師

高久隆古

(1810～1858)



『現存名江戸文人
人寿命附』(1850)版

江戸の著名人の紹介本。隆古は「画の名は江戸に高久」と評され、絵師として高い評判を得ています。

文政6年(1823)の三方領知替えにより阿部家が白河藩主となります。高久隆古は、この阿部家家老の川勝家に生まれました。

10代の頃から好んで絵を描いていましたが、素行が悪く家を勘当されます。放浪のうちに江戸に出て、谷文晁の門人である依田竹谷に入門しました。20代で京に上り、復古大和絵派(古典的な大和絵の復興を目指す)の絵師・浮田一恵に師事しました。江戸に戻った後は評判が高まり、のちに実家の勘当も解かれました。

《高久家の養子へ》

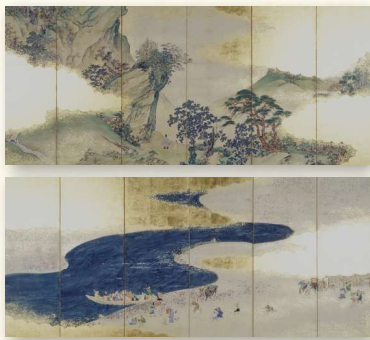
天保14年(1843)、文晁門弟の高久靄厓が跡継ぎなく急死し、周囲のすすめで高

久家の養子となりました。しかし、隆古自身は必ずしもこの縁組を望んではいなかったようです。

《旅と交友》

隆古は、京都の他、名古屋や関東、白河などを旅し、様々な人物と交流しています。例えば文晁門弟の渡辺華山に私淑し、また坂下門外の変に関わった尊皇家・大橋訥庵と交流しています。こうした交友の中で、南画、大和絵、華山風の花鳥人物画などの幅広い画風を深めたのです。

晩年には佐原(千葉県香取市)を訪れ、半年滞在しています。しかし佐原から江戸への帰途、病気で急死し、江戸谷中の天龍院に葬られました。実家・川勝家の墓は白河市の妙閑寺にあります。



伊勢物語・西行物語図屏風(白河市歴史民俗資料館蔵)

文化財課 ☎ 23310

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ガーキー・マイケル・リー先生
(アメリカ ウィスコンシン州)

本庁舎学校教育課 内2365

楽しく英語を学ぼう！

皆さんこんにちは。前回に引き続きマイケルです。

私は信夫一小、大屋小、そして大信中と東中に勤務し、子どもたちに英語を教えています。日本の学校は落ち着いた雰囲気があり、子どもたちは伸び伸びと勉強していて、とてもすばらしいと感じています。

英語の授業では、クイズなどのゲームを取り入れて、楽しみながら英語が覚えられるよう工夫しています。また、少しでも英語に興味をもってもらえるよう、学校の掲示板に、みんなで「まなBoard!」というコーナーを作り、子どもたちとコミュニケーションを図って

います。

子どもたちとの授業は本当に楽しいです。子どもたちにもっと英語を好きになってもらえるよう頑張っていきます。



▲英会話ヒアリングテストの様子

英語で一言！

Always look for adventure.
(いつも探究心を持ち続けよう)

シリーズで学ぶ

白河歴史人物伝

Vol.12

最古は塩伊乃己直

名が知られる 古代の人々

《白河地域で最古の人名》

白河関跡にある白河神社には、全国の神社でもまつられる神の他に、白河ゆかりの人まつられています。塩伊乃己直という、白河国造に任じられた人物です。国造とは、5、6世紀末、大和朝廷に組み込まれた有力な地方豪族が任じられた地方官です。塩伊乃己直は現時点で、名の分かる最古の白河地域の人物です。

《奈良時代の人物》

奈良時代には、白河郡の大領（郡の官人の役職の一つ）で、朝廷から阿倍陸奥臣の姓を与えられた文部子老や、多賀城（宮城県多賀城市）に派遣された白河軍団（白河郡付属の兵）の兵士、大生部乙虫などの記録が残っています。軍団の兵士は、白河郡の21歳から60歳の男子から、家ごとに一人づつ出ることが決められていたもので、乙虫は一般の民とみられます。

《平安時代の人物》

嘉祥元年（848）、奈須直赤龍が阿倍陸奥臣の姓を与えられています。那須郡の郡司「那須直」の一族と関係がある可能性が指摘されています。また、長元7年（1034）の記録には、京都に調や庸といたった、物納する税を運ぶ任務にあたった、白河軍団の占部安信という人の名も残っています。



舟田中道遺跡（舟田）

下総塚古墳に葬られた人の次の世代の白河国造の館跡と推測されます。



下総塚古墳（舟田）

6世紀後半の前方後円墳では東北地方最大規模をほこり、白河国造の墓と推測されます。

文化財課 272310